

第60期事業報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

RIX リックス株式会社

証券コード7525

「メーカー商社」として
世界の産業界に貢献します。



代表取締役社長 安井龍之助

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社は平成18年3月31日をもって、第60期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）を終了いたしました。

平素からのご指導、ご支援に対しまして厚く御礼申し上げますとともに、ここに営業の概況並びに諸計算書についてご報告申し上げます。

平成18年6月28日

● 営業の概況

1. 営業の経過及び成果

①営業の全般的状況

当期のわが国の経済情勢は、輸出の増加と設備投資の拡大に伴って、企業収益は一段と回復の度合いが鮮明となり、また、雇用・所得環境の改善による個人消費の底堅い推移を背景に、持続的な景気回復を続けております。

このような状況の中、当社は、中期経営計画である「戦略ビジョン2005」の最終年度として、前期に前倒しで達成した、同計画の目標である「経常利益10億円」の継続はもとより、次期中期経営計画となる「戦略ビジョン2010」への繋ぎの年として、業績目標の達成と収益向上に向けた「実行力のある強い組織創り」を目指して各種施策を展開してまいりました。

具体的には、当社独自の情報知識ネットワーク「Monju」を核として、当社のビジネスモデルを動かす基盤となるオペレーティングシステムの機能強化に努めてまいりました。特に、人創り、仕組創りにおいては、外部コンサルタントと連携し、幹部クラスの「課題解決力」、「実行力」及び「マネジメント力」向上を目的とした教育プログラムの実行に取り組んでまいりました。

営業活動につきましては、当社収益の源泉である自社製品・ブランド商品と収益安定のための流れ商品（生産比例品）の拡販に努めてまいりました。個別にみますと、鉄鋼業界向けには土壤黒鉛やオイルシール及びパッキンが、自動車業界（工作機械業界含む）向けには自社製品である高速回転継手やNC高圧洗浄機が、ゴムタイヤ業界向けにはブランド商品である加硫機用の部品およびバルブが、各々粗利益の向上に貢献いたしました。

生産活動につきましては、当社の主力生産品である高速回転継手の増産に対応するための設備投資を行い、工作機械業界向けにおけるシェアアップを図ってまいりました。また、高速回転継手および洗浄装置につきましては、更なる「クリーン化・精密化」に対応するための設備投資を行い、中長期的な新製品の開発を目指して活動してまいりました。

以上のような結果、平成18年3月期の当社の業績は、売上高283億円（対前期比14.1%増）、経常利益13億42百万円（対前期比20.2%増）、当期純利益4億67百万円（対前期比34.6%増）の実績となりました。

②部門別の営業概況

現在、業界指向の営業活動を実施しております。よって、営業の概況における個々の商品の増減状況に関しましては、業界単位を中心にご説明いたします。なお、当社における業界区分につきましては、鉄鋼・電子半導体・自動車・ゴムタイヤ・化学・環境・紙パルプの7業界とその他（食品や建設業界等）に区分しております。

「商社部門」

当社の主力商品である圧力発生機は、自動車業界を中心にグランドフォスポンプの売上が貢献し、32億29百万円（対前期比26.6%増）の売上高となりました。

また、応用機器・システム商品は、自動車業界向けに洗浄装置及び薄板接合ツール（TOXパワーパッケージ）の売上が貢献し、15億52百万円（対前期比6.0%増）の売上高となりました。

付属機器・部品につきましては、鉄鋼業界向けにオイルシール及びパッキンが、またゴムタイヤ業界向けに加硫機用の部品およびバルブが、さらに電子半導体・自動車業界向けに拡販しておりますフィルターの売上が貢献し、92億30百万円（対前期比11.4%増）の売上高となりました。

関連技術商品につきましては、鉄鋼業界向けに結束機やジャバラの販売が好調なことにより30億91百万円（対前期比15.5%増）の売上高となりました。

精密自動・計測機器につきましては、自動車業界向けの検査機器・装置の売上が貢献し、9億56百万円（対前期比14.6%増）の売上高となりました。

その他商品につきましては、鉄鋼業界の活況に伴って副資材（土壤黒鉛等）の販売が好調なことにより、69億4百万円（対前期比16.6%増）の売上高となりました。

以上のような結果、商社部門全体としては、鉄鋼・電子半導体・自動車・ゴムタイヤの当社主力業界が総じて好調なことにより、249億65百万円（対前期比14.9%増）の売上高となりました。

「自社製品部門」

応用機器・システム製品は、自動車業界向けのエンジン部品洗浄装置の売上が貢献し、19億55百万円（対前期比4.4%増）の売上高となりました。

付属機器・部品は、工作機械向け（分類は自動車業界）の高速回転継手が、顧客のニーズに応え製品の改良・新商品開発等を継続的に行ったことが実を結び、13億79百万円（対前期比15.4%増）の売上高となりました。

以上のような結果、自社製品部門全体としては、自動車業界の設備投資が好調なことに加え、顧客ニーズを的確に捉えた商品の開発・改良を行ったことにより、33億34百万円（対前期比8.7%増）の実績となりました。

2. 設備投資の状況

当期中の設備投資総額は、4億10百万円であり、主なものは次のとおりであります。

福岡事業所	建物	39百万円
〃	機械装置・工具器具備品	2億12百万円

3. 資金調達の状況

設備投資資金は、全額自己資金により賄っております。

4. 会社が対処すべき課題

平成18年度の我が国の経済情勢は、原油価格の動向、米国・中国をはじめとする海外経済動向、国内民間需要の動向などにより、幾分振れる可能性があるものの、概ね昨年同様緩やかな回復を続けるものと予想されます。

このような状況の中、当社は、新たに中期経営計画「戦略ビジョン2010」を策定し、「経常利益20億円」を定量目標として掲げました。そして、平成18年度は、「一人ひとりの活動の品質を上げて顧客価値を高めよう」という全社基本方針のもと、各種活動を展開してまいります。

営業活動につきましては、①ナレッジマネジメントを通じた顧客満足の向上、②流れ商品（生産比例品）の継続的な提案による顧客密着営業の質の向上、③自動車、鉄鋼、及び半導体・液晶を重点業界とし、これら3業界で営業粗利益の70%を各々目指してまいります。

生産活動につきましては、製造本部から製品事業本部へと改称し、従来の福岡事業所、名古屋事業所という拠点ベースの組織体制から回転継手事業部、洗浄システム事業部という商品を軸とした組織体制へと変更することによって、「クリーン化・精密化」に代表されるお客様のニーズに応えられる新商品開発を図ってまいります。

また、全社的な商品開発につきましては、営業開発部門と製造開発部門（技術企画）とを統合し、「商品開発推進プロジェクト」を発足させ、マーケティング力、商品・事業企画力を含めたコア能力とコア技術力を高め、全社的な見地から、継続的に付加価値の高い商品開発ができる仕組みと能力の獲得を目指してまいります。

さらに、当社自動車業界と電子半導体業界のコラボレーションにより「AMEプロジェクト」を発足させ、カーエレクトロニクス分野への対応と新商品の創出を目指してまいります。

人事面につきましては、新人事制度の運用定着を図り、従業員のモチベーション向上を目指すと共に、課題解決型人材の確保と次期経営幹部養成のための教育・育成プログラムを継続的に実行してまいります。

平成18年度は、新たな中期経営計画「戦略ビジョン2010」の初年度として全社員一丸となって業務に邁進し、業績の向上を図る所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

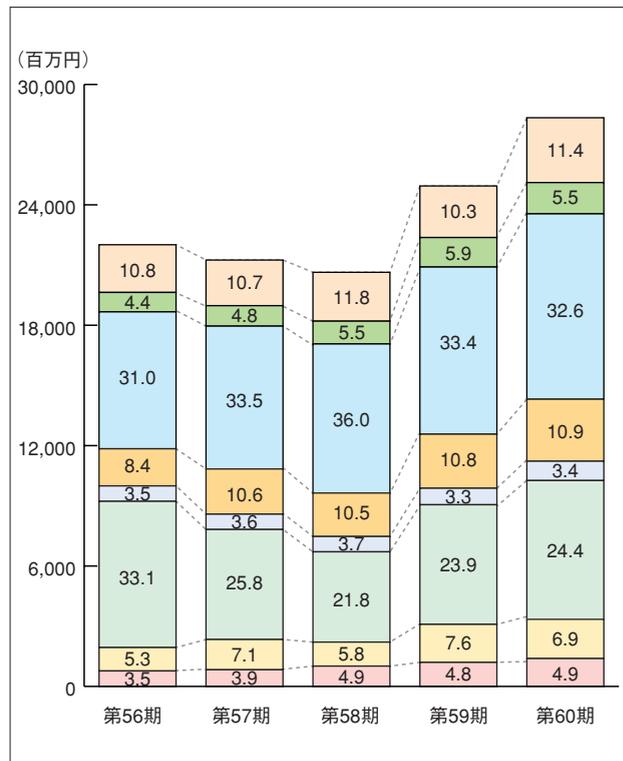
● 事業内容

当社は、高圧液圧応用機器を中心に商品の販売及び製品の製造・販売を行っております。

高圧液圧応用機器とは、圧力発生機（プランジャーポンプ、油圧ポンプ等）、応用機器・システム機器（水や油に高い圧力をかけ、増幅する力を利用し、切断・剥離及び洗浄を行う高圧水洗浄装置、高圧水バリ取装置等並びにプレス等の作業を行う油圧プレス機器等）、付属機器・部品（回転ノズル、オイルシール、回転継手等）、関連技術商品（真空ポンプ、三方ピストン弁等）のことであります。

区分	主要商品・製品名
商 品	【圧力発生機】 油圧ポンプ、オイルポンプ、 プランジャーポンプ等
	【応用機器・システム商品】 高圧水洗浄装置、プレス機器等
	【付属機器・部品】 回転ノズル、オイルシール等
	【関連技術商品】 真空ポンプ、三方ピストン弁、 熱交換機、潤滑装置等
品	【精密自動・計測機器】 画像処理装置、レーザー測定 装置等
	その他 製鋼副資材、環境関連機器、 省力化機器、工業用材料等
製 品	【応用機器・システム製品】 精密洗浄装置、高圧水洗浄装置 高圧水バリ取装置等
	【付属機器・部品】 回転継手及び関連製品

■商品製品別売上高 (グラフ中の数字：売上比率)



● 取扱品目

商品

【圧力発生機】



プランジャーポンプ
高圧水の発生源となるポンプ
高圧水洗浄装置の動力源として利用

【応用機器・システム商品】



多用用途の高圧水洗浄機
(ロッキータッチャー)



金属接合機 (TOX)
異種金属板を接合する機械 TOXにより接合したもの

【付属機器・部品】



オイルシール類
高圧の水・油を密封し外に漏れないようにする
また、外部からダストが侵入するのを防ぐ

【関連技術商品】



スクロール式真空ポンプ
(リックスドライマスター)



三方ピストン弁 (ロッキータッチャー)
高圧のガス等の流量を調整する弁
主にタイヤメーカーの加硫用で使用

製品

【応用機器・システム製品】

フラックス精密洗浄装置
半導体新製品 (CSP、BGA等)
の製造工程に使用されるフラ
ックスを除去し、純水にて精
密仕上げ洗浄を行う装置



NC高圧洗浄機
(ジェットフレックス)
自動車業界向けの高圧水
を利用した部品の深穴の
金属バリ取装置



【付属機器・部品】

クリーンルーム対応
ロータリージョイント
半導体業界で、CMP設備
などに水や研磨剤などを
供給する回転継手



工作機械用
ロータリージョイント
マシニングセンターで、ク
ーラント液をスピンドル
から噴射する用途に使用
する回転継手



高圧水によるICリードフレームの
樹脂バリ取り作業

貸借対照表

(単位:千円)

科目	期別	当 期	前 期
		(平成18年3月31日現在)	(平成17年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		14,716,842	13,091,196
現金及び預金		1,066,830	1,489,825
受取手形		2,615,366	2,443,750
売掛金		8,818,228	7,971,084
信託受益権		1,075,221	—
商品		280,286	301,587
製品		117,236	83,430
半製品		71,560	47,869
原材料		26,177	26,866
仕掛品		258,840	171,707
前払費用		47,332	43,116
短期貸付金		95,000	220,141
未収入金		42,629	33,312
繰延税金資産		200,735	202,090
その他の流動資産		3,708	62,812
貸倒引当金		△ 2,310	△ 6,400
固定資産		4,523,156	3,864,387
有形固定資産		1,611,892	1,496,280
建物		584,940	545,022
構築物		25,228	26,828
機械装置		195,474	58,819
車両運搬具		4,305	1,202
工具器具備品		148,739	120,841
土地		618,572	739,588
建設仮勘定		34,631	3,974
無形固定資産		65,154	63,994
電話加入権		12,594	12,594
ソフトウェア		52,323	51,059
その他の無形固定資産		236	340
投資その他の資産		2,846,109	2,304,112
投資有価証券		2,132,214	1,584,586
子会社株式		207,190	87,190
出資金		520	520
子会社出資金		24,130	24,130
長期貸付金		291,434	316,720
従業員長期貸付金		17,850	18,310
長期前払費用		4,997	9,050
差入保証金		106,328	125,019
繰延税金資産		—	78,261
その他の投資		65,157	62,956
貸倒引当金		△ 3,712	△ 2,632
資産合計		19,239,999	16,955,583

(単位:千円)

科目	期別	当 期	前 期
		(平成18年3月31日現在)	(平成17年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債		12,717,054	11,283,618
支払手形		3,306,808	5,700,645
買掛金		5,552,682	2,725,887
短期借入金		2,630,000	1,800,000
1年以内返済予定長期借入金		139,600	119,600
未払金		265,494	109,102
未払法人税等		319,000	399,000
未払費用		400,383	374,026
預り金		17,750	15,883
前受金		38,394	4,242
役員賞与引当金		44,300	—
その他の流動負債		2,640	35,231
固定負債		1,129,009	949,859
長期借入金		342,800	397,400
預り保証金		18,680	19,080
繰延税金負債		84,687	—
退職給付引当金		451,065	533,379
役員退職慰労引当金		231,776	—
負債合計		13,846,063	12,233,478
(資本の部)			
資本金		827,900	827,900
資本剰余金		675,837	675,837
資本準備金		675,837	675,837
利益剰余金		3,320,908	2,974,878
利益準備金		168,740	168,740
任意積立金		2,343,704	2,044,067
役員退職積立金		16,496	16,496
固定資産圧縮積立金		7,207	7,571
別途積立金		2,320,000	2,020,000
当期末処分利益		808,463	762,071
株式等評価差額金		602,434	276,523
その他有価証券評価差額金		602,434	276,523
自己株式		△ 33,144	△ 33,034
資本合計		5,393,935	4,722,105
負債及び資本合計		19,239,999	16,955,583

損益計算書

(単位:千円)

科目	期別	当 期	前 期
		平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
(経常損益の部)			
営業損益の部			
営業収益		28,300,085	24,800,800
商品売上高		24,965,423	21,733,225
製品売上高		3,334,661	3,067,575
営業費用		27,117,516	23,810,900
売上原価		23,734,769	20,633,698
販売費及び一般管理費		3,382,747	3,177,201
営業利益		1,182,568	989,900
営業外損益の部			
営業外収益		183,169	151,248
受取利息		16,408	11,696
有価証券利息		115	115
受取配当金		68,600	35,340
仕入割引		12,076	13,141
不動産賃貸収入		36,079	35,844
為替差益		6,583	8,360
雑収入		43,306	46,749
営業外費用		23,407	24,474
支払利息		15,015	16,062
売上割引		1,021	930
雑損失		7,370	7,481
経常利益		1,342,331	1,116,675
(特別損益の部)			
特別利益		5,359	943
投資有価証券売却益		4,750	943
貸倒引当金戻入益		608	—
特別損失		368,972	463,976
固定資産売却損		1,593	—
固定資産除却損		4,772	26
投資有価証券評価損		—	5,623
役員退職金		—	18,691
会員権評価損		460	18,630
子会社整理損		—	11,248
退職給付費用		—	409,757
役員退職慰労引当金繰入額		217,009	—
減損損失		145,137	—
税引前当期純利益		978,718	653,641
法人税、住民税及び事業税		568,598	518,961
法人税等調整額		△ 57,534	△ 212,877
当期純利益		467,654	347,557
前期繰越利益		340,809	414,513
当期末処分利益		808,463	762,071

利益処分

(単位:円)

項目	金額
当期末処分利益	808,463,930
任意積立金取崩高	16,842,625
固定資産圧縮積立金取崩高	345,965
役員退職積立金取崩高	16,496,660
計	825,306,555
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金	145,389,729
1株につき 17円	
任意積立金	300,000,000
別途積立金	300,000,000
次期繰越利益	379,916,826

(注) 1. 利益配当金は自己株式87,663株分を除いております。
2. 固定資産圧縮積立金の取崩は、租税特別措置法に基づくものであります。

● 連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	期別	当 期	前 期
		(平成18年3月31日現在)	(平成17年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		16,186,348	14,261,799
現金及び預金		1,910,862	2,256,023
受取手形		2,704,370	2,583,206
売掛金		9,143,151	8,043,192
信託受益権		1,075,221	—
商品		459,976	480,700
製品		117,236	83,430
半製品		71,560	47,869
原材料		29,155	26,866
仕掛品		259,870	171,707
貯蔵品		744	—
前払費用		50,199	45,753
短期貸付金		95,000	220,141
未収入金		42,629	33,344
繰延税金資産		249,917	231,822
その他の流動資産		3,873	63,046
貸倒引当金		△ 27,421	△ 25,307
固定資産		5,017,858	4,212,726
有形固定資産		1,713,619	1,498,741
建物		642,617	545,167
構築物		35,569	26,828
機械装置		214,324	58,819
車両運搬具		5,850	1,202
工具器具備品		151,540	123,159
土地		629,085	739,588
建設仮勘定		34,631	3,974
無形固定資産		69,380	66,964
電話加入権		15,317	14,938
ソフトウェア		53,583	51,686
その他の無形固定資産		479	340
投資その他の資産		3,234,857	2,647,020
投資有価証券		2,631,679	1,872,893
子会社株式		49,050	59,050
出資金		520	530
子会社出資金		24,130	24,130
長期貸付金		266,054	316,720
従業員長期貸付金		17,850	18,310
長期前払費用		4,997	9,050
差入保証金		118,472	136,567
繰延税金資産		—	106,290
その他の投資		133,072	156,227
貸倒引当金		△ 10,979	△ 52,749
資産合計		21,204,206	18,474,525

(単位:千円)

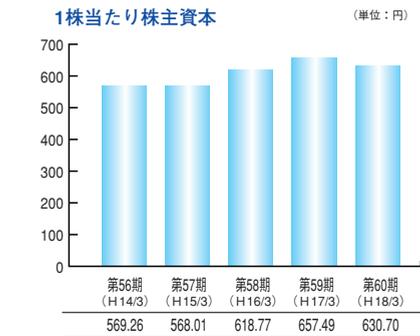
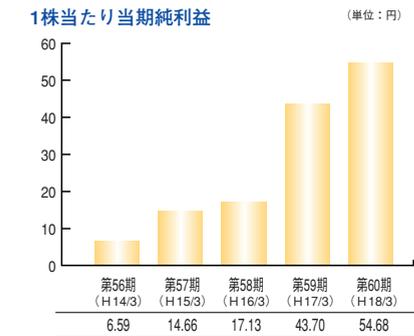
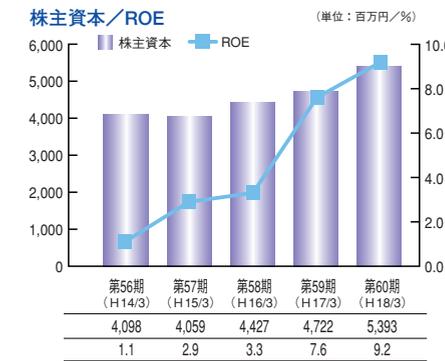
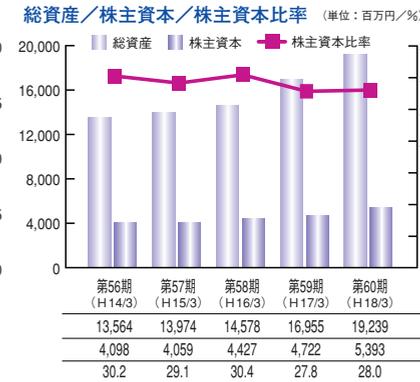
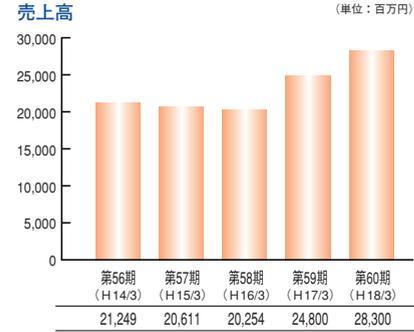
科目	期別	当 期	前 期
		(平成18年3月31日現在)	(平成17年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債		13,911,203	12,301,646
支払手形		4,002,710	6,390,149
買掛金		5,815,128	2,921,503
短期借入金		2,631,500	1,828,000
1年以内返済予定長期借入金		139,600	119,600
未払金		211,050	109,102
未払法人税等		368,973	422,287
未払費用		606,909	428,255
預り金		27,078	18,814
前受金		38,394	21,088
役員賞与引当金		44,300	—
その他の流動負債		25,557	42,845
固定負債		1,221,800	1,026,331
長期借入金		356,411	397,400
預り保証金		10,680	11,080
繰延税金負債		129,494	—
退職給付引当金		489,459	617,166
役員退職慰労引当金		231,776	—
連結調整勘定		3,978	685
負債合計		15,133,003	13,327,978
(少数株主持分)			
少数株主持分		238,417	168,012
(資本の部)			
資本金		827,900	827,900
資本剰余金		675,837	675,837
利益剰余金		3,747,530	3,251,314
株式等評価差額金		648,069	289,925
自己株式		△ 66,552	△ 66,442
資本合計		5,832,784	4,978,535
負債、少数株主持分及び資本合計		21,204,206	18,474,525

● 連結損益計算書

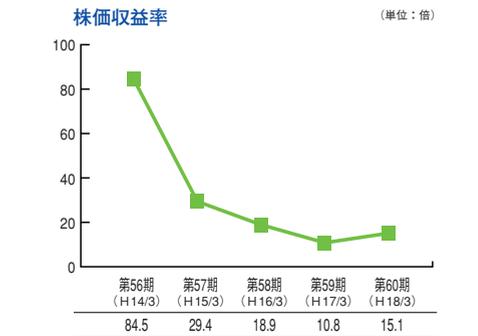
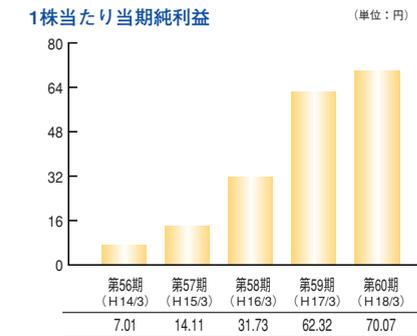
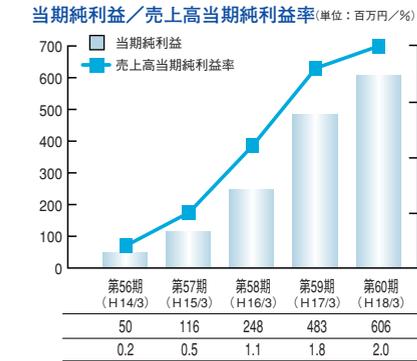
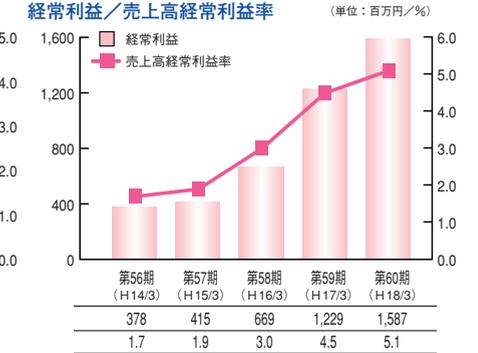
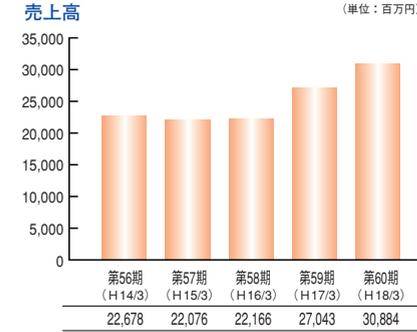
(単位:千円)

科目	期別	当 期	前 期
		平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
経常損益の部			
営業損益の部			
営業収益		30,884,973	27,043,879
商品売上高		27,536,166	23,976,304
製品売上高		3,348,806	3,067,575
営業費用		29,538,698	25,989,386
売上原価		25,609,581	22,236,884
販売費及び一般管理費		3,929,117	3,752,502
営業利益		1,346,274	1,054,493
営業外損益の部			
営業外収益		264,943	203,227
受取利息		16,151	11,798
有価証券利息		115	115
受取配当金		63,190	32,792
仕入割引		12,076	13,141
不動産賃貸収入		30,614	26,881
為替差益		6,583	8,360
連結調整勘定償却額		1,037	171
持分法による投資利益		84,941	56,776
雑収入		50,233	53,188
営業外費用		24,013	27,920
支払利息		15,586	16,885
売上割引		1,021	930
雑損失		7,404	10,103
経常利益		1,587,204	1,229,800
特別損益の部			
特別利益		32,909	1,241
投資有価証券売却益		4,750	943
退職給付引当金戻入益		28,158	—
その他		—	297
特別損失		368,972	524,991
固定資産売却損		1,593	—
固定資産除却損		4,772	90
投資有価証券評価損		—	5,623
役員退職金		—	18,691
会員権評価損		460	18,630
役員退職慰労引当金繰入額		217,009	—
減損損失		145,137	—
退職給付費用		—	481,955
税金等調整前当期純利益		1,251,141	706,050
法人税、住民税及び事業税		641,151	563,221
法人税等調整額		△ 47,606	△ 338,844
少数株主利益		51,201	—
少数株主損失		—	2,084
当期純利益		606,395	483,758

● 経営指標の推移 (単体)



● 経営指標の推移 (連結)



● 事業所 (平成18年6月28日現在)

- ★本社 福岡市博多区山王1丁目15番15号
- 営業本部 東京都千代田区三崎町3-6-12
- 製品事業本部(福岡) 福岡県粕屋郡須恵町植木1321-10
- 製品事業本部(名古屋) 愛知県岡崎市北野町字西山畔38-1
- 技術開発センター 福岡県粕屋郡須恵町植木1321-10
- 営業所
- 東部営業部 苫小牧営業所、仙台営業所、埼玉営業所
東京営業所、西東京営業所
千葉営業所、君津営業所、横浜営業所
平塚営業所、富士営業所
西尾営業所、豊田営業所、名古屋営業所
四日市営業所
- 西部営業部 大阪営業所、堺営業所、滋賀営業所
神戸営業所、加古川営業所
広島営業所、倉敷営業所、周南営業所
四国営業所
福岡営業所、北九州営業所、大分営業所
長崎営業所、熊本営業所



● 会社概要

社名 リックス株式会社
 英文社名 RIX CORPORATION
 設立 昭和39年5月1日
(登記上の設立年月日 昭和22年5月30日)
 資本金 8億2,790万円
 従業員数 228名

● 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 27,600,000株
- ②発行済株式の総数 8,640,000株
(前期末比20%増)

(注) 当社は、平成17年5月20日に、平成17年3月31日最終の株主名簿、及び実質株主名簿に記載または記録された株主が所有する株式1株につき1.2株の割合で株式分割(無償交付)を行いました。これにより発行済株式の総数は1,440,000株増加し、8,640,000株となりました。

- ③株主数 613名
- ④1単元の株式数 100株
- ⑤大株主

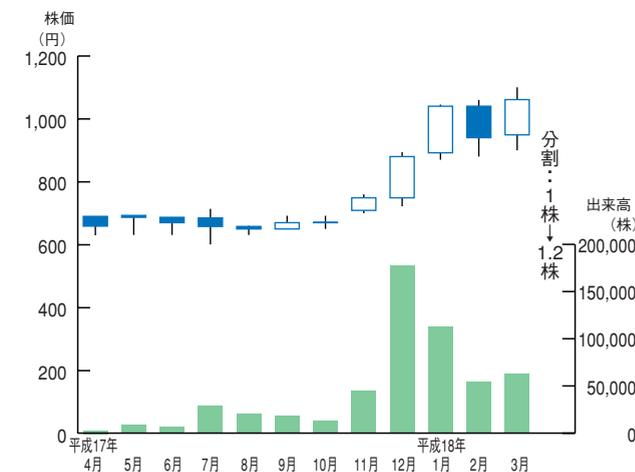
株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	議決権比率	持株数	出資比率
	千株	%	千株	%
エヌオーケー株式会社	1,167	13.93	80	0.04
安井 玄一郎	861	10.27	—	—
リックス従業員持株会	538	6.42	—	—
株式会社西日本シティ銀行	418	4.99	374	0.04
リックス取引先持株会	351	4.19	—	—
山田 文代	331	3.95	—	—
株式会社三菱東京UFJ銀行	240	2.86	—	—
株式会社サニックス	240	2.86	84	0.20
安井 龍之助	231	2.76	—	—
松山 礼子	212	2.52	—	—

(注) 当社は、株式会社三菱東京UFJ銀行の持株会社である株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの株式を48株(出資比率0.00%)保有しております。

● 役員 (平成18年6月28日現在)

取締役会長 安井 玄一郎
 代表取締役社長 安井 龍之助
 常務取締役 平尾 勉
 常務取締役 松浦 賢治
 取締役 吉岡 義隆
 取締役 荻田 透
 取締役 齊藤 竜彦
 常勤監査役 太田 邦郎
 監査役 永富 賢明
 監査役 小西 正純

● 株価および株式売買高の推移



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
	その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号（〒100-0005） 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号（〒100-0005） 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
（同送付先）	東京都江東区東砂七丁目10番11号（〒137-8081） 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
1単元の株式の数	100株



福岡市博多区山王一丁目15番15号 〒812-8672
TEL (092) 472-7311
ホームページ・アドレス <http://www.rix.co.jp>